

戦後の阿波踊り

1937年に日中戦争が勃発すると、徳島市は盆踊り（夏の民俗舞踊）のイベントをキャンセルしました。戦争中は娯楽が制限され、人々は踊ることが禁止されていました。これは第二次世界大戦に持ち越され、都市は空襲で大きな被害を受けました。しかし、1946年に日本が平和の新時代を迎えたとき、徳島を復活させるための努力の一環として、盆踊りが復活しました。この年は、徳島の旧称にちなんで、市が正式に「阿波踊り」と命名した年でもあります。戦前から、夏以外外の祝賀会や観光イベントで踊りが行われていたため、市の指導者たちは「盆踊り」を「阿波踊り」に置き換えることを検討していました。

やがて、踊り子のグループが結成され、音楽の伴奏を含む彼らの演奏のステップやその他の要素が開発し、洗練され始めました。阿波踊りは、国内外からの来場者を魅了し始めました。現在は徳島の主要なシンボルです。